

宮城県版親の学びのプログラム『親のみちしるべ』について (平成24, 25, 26年度協働教育推進総合事業)

1 作成経過・作成目的

平成23年度の文部科学省の提案に基づき、東日本大震災後における家庭教育の支援（親の心の安定と親の教育力の向上）を図るため、以下の目的で作成したもの。

- 震災後のストレスに悩み苦しむ保護者の心のケアと、安心の回復を目指す。
- 社会的課題（孤独な子育て、虐待や放任、しつけなど）の解決のきっかけとなる親育ちのための参加型学習プログラム（ワークショップ形式）の開発と講座の充実を図る。

2 プログラム内容

(1) 平成24年度

① 作成意図

- 1) プログラムを通して、親自身に気付きや見直しのきっかけを提供する。
- 2) 困難を抱える親の不安を軽減・解消する。
- 3) 親同士の学び合いや仲間づくりの機会をつくる。
- 4) 子どもに関わる地域環境を整備する。

② プログラム

ステージ	タイトル	対象者
1	「自分と向き合う」 ～輝いていますか？『笑顔』～	全ての大人
2	「赤ちゃんが生まれて」 “子育てがひとりっきり”にならないように ～かわいいんだけど気持ちは複雑～（育児ストレス解消）	乳幼児を持つ親、 関わる大人等
3	「子育てと仕事の両立」 ～仕事…続けていけるのかな？～	仕事を始めた親等
4	「小さな社会へデビュー」 ～子どもが保育所・幼稚園へ！～	未就学児を持つ親
5	「第2子誕生」 ～ライバル出現?!～	子どもを持つ親等
6	「子どもが小学校へ入学」 ～わくわく！はじめての入学！期待いっぱい！でも不安も～	小学校に入学する 子を持つ親
7	「お父さんの出番」 ～育メン・育ジイ時代到来～『お父さん飛びます!』	子どもを持つ親等
8	「親と子のコミュニケーション」 ～毎日毎日のことだから～	子どもを持つ親等
9	「子どもたちの未来に寄り添っていこう」 ～子どもの頃のやさしいあたたかさをおぼえていますか？～	全ての大人（震災 後の心のケア）
10	「子育てって自分育ち？」 ～これからの人生に向けて～	全ての大人

※対象者は、実際に当事者となる親に限らず、関心のある親や大人

※参加型学習（ワークショップ形式）で実施するため、様々な年代の方や男女が参加することで、より良い効果をもたらすことが期待される。

<作成委員>（あいうえお順）

- ・石川伸二（元宮城県教育庁教育企画室課長補佐，現石巻市飯野川第一小学校校長）
- ・石垣政裕（副委員長・お父さんたちのネットワーク世話人）
- ・和泉かほる（宮城県保健福祉部子育て支援課技術主査）
- ・猪平眞理（委員長・元宮城教育大学教授）
- ・岩岡明子（学校法人慈園学園中新田幼稚園長）
- ・佐々木とし子（宮城県地域活動連絡協議会会長）
- ・須藤憲枝（システミックセラピスト
家族心理士・家族相談士資格認定機構認定家族相談士）
- ・佐藤智子（元宮城県子ども総合センター主幹）
- ・杉山義隆（元大河原町立大河原小学校主幹教諭，現亶理町立逢隈小学校教頭）
- ・中保良子（特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ理事）
- ・波多野ゆか（親業インストラクター，すまいるすきっぷ代表）
- ・松崎和佳子（宮城県教育庁生涯学習課主幹）

<挿絵> 小野智香

<実践協力委員>（あいうえお順）

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| ・赤沼悦子（名取市） | ・大友悦子（名取市） | ・大内恵子（栗原市） | ・大橋ひとみ（涌谷町） |
| ・片山洋子（名取市） | ・久保文恵（名取市） | ・齋藤勇介（名取市） | ・佐々木啓通（涌谷町） |
| ・佐藤順子（涌谷町） | ・佐藤孝江（涌谷町） | ・佐藤徳美（亶理町） | ・松坂めぐみ（川崎市） |
| ・鈴木浜子（名取市） | ・須藤博之（涌谷町） | ・千葉節子（涌谷町） | ・千葉美知代（栗原市） |
| ・長柴幸江（栗原市） | ・水上昭子（柴田町） | ・和久泰子（涌谷町） | ・佐藤陽子（栗原市） |

平成25年度

① 作成意図 親子の信頼関係を見直し、「気付き」を得るきっかけをつくる。

(イ) 思春期の子どもを持つ親を対象としたプログラム

- 1) 子育てが一区切りし、第2ステージへと切り替わる子どもの思春期に親も自分と向き合い、自分の子育て(生き方)を見つめ直し、新たな気付きを得る。
- 2) 困難を抱える親の不安(孤独な子育て)を軽減・解消する。
- 3) 子どもに向き合うことで親子関係、家族関係の向上を目指す。

(ロ) 近い将来、親になる10代の子どもたち対象のプログラム

- 1) “子どもを生み、育てる”ということについて考え、気付きを得る。
- 2) 親や周囲の大人を一人の人間として見ることで、相手を尊重し、信頼し合う大切さに気付き、より良い人間関係を築くきっかけを得る。

② プログラム

ステージ	タイトル	対象者
1	ーこれって反抗期?ー 「ゆるる心の子どもに向き合おう」	反抗期と思われる時期の子を持つ親や保護者
2	ー揺れる思春期の子どもたちー 「思春期の子どもに向き合おう」	思春期の子を持つ親や保護者(不安定な心や行動を不安に感じているが理解したいと考えている)
3	ー揺れる思春期の子どもたち 「子どもの性に向き合おう」 ～一人の人間として～	思春期の子を持つ親や保護者(子どもの性をどう捉え、対応したらよいか理解したいと考えている)
4	ー未来の親となるあなたへー 「こんにちは!赤ちゃん」	主に中学生(親になるということを考えさせたい10代の子どもたち)
5	ー未来の親となるあなたへー 「生きていくということ」 ～同じ時代に生まれて～	主に高校生(親になるということを考えさせたい10代の子どもたち)

※ステージ4～5は、10代の子どもたちに実践可。グループ学習を取り入れているため、仲間の力で互いに良い刺激を受けることが期待される。

<作成委員> (あいうえお順)

- ・石垣政裕 (副委員長・お父さんたちのネットワーク世話人) ・越中康治 (宮城教育大学准教授)
- ・小野智香 (委員兼挿絵担当) ・相良徳子 (元宮城県PTA連合会理事)
- ・佐藤秋生 (元大郷町立大郷中学校主幹教諭, 現大河原教育事務所教育班指導主事)
- ・志村祐子 (東北福祉大学准教授) ・鈴木淳 (宮城県教育庁教育企画室主幹)
- ・中保良子 (特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ理事)
- ・三浦聡子 (東北生活文化大学高等学校養護教諭) ・松崎和佳子 (宮城県教育庁生涯学習課主幹)

<平成25年度宮城県家庭教育支援チーム委員> (あいうえお順)

- ・大内恵子 (栗原市)・大橋ひとみ (涌谷町)・齋藤勇介氏 (名取市)・佐々木啓通 (多賀城市)
- ・佐藤徳美 (亘理町)・松坂めぐみ (川崎市)・吉田英治, 遠藤昭成 (幼児体育研究所)・松崎和佳子

平成26年度

<平成26年度宮城県家庭教育支援チーム委員> (南から北の順)

- ・佐々木とし子 (白石市)・川上朋子 (角田市)・金峯照美 (蔵王町)・川村日米子 (大河原町)
- ・村上千恵子 (村田町)・佐々木恵美 (柴田町)・松坂めぐみ (川崎町)・佐藤順子 (川崎町)
- ・遠藤芳子 (丸森町)・飛田佐枝子 (丸森町)・鈴木佐久子 (塩竈市)・齋藤勇介 (名取市)
- ・高橋多喜子 (多賀城市)・小針美香 (多賀城市)・山本宜江 (多賀城市)・小林由美子 (多賀城市)
- ・鎌田典子 (岩沼市)・佐藤徳美 (亘理町)・佐藤作智栄 (山元町)・野口良子 (利府町)
- ・櫻井博恵 (富谷町)・鈴木美恵子 (大崎市)・高橋美代子 (加美町)・浅野敦子 (色麻町)
- ・吉田三重子 (涌谷町)・今野幹子 (美里町)・長柴幸江 (栗原市)・蜂谷洋子 (栗原市)
- ・蜂谷洋子 (石巻市)・高橋千賀子 (東松島市)・後藤和江 (女川町)・佐藤啓子 (登米市)
- ・三浦三枝子 (気仙沼市)・佐々木恵子 (南三陸町)

3 活用する場面

(1) 親対象の場合

- ① 保育所, 幼稚園…保護者会
- ② 小・中学校…入学説明会, PTA 研修会, 学級懇談会, 保護者会
- ③ 地域…親の学び塾, 家庭教育学級, 子育てサークル, 家庭教育支援サークル
- ④ 健診等…乳幼児健診, 就学時検診
- ⑤ 公民館, 児童館, 社会教育施設, 子育て支援センター…家庭教育講座
- ⑥ アウトリーチ(訪問)型家庭教育支援

(2) 10代の子ども対象の場合

- ① 学校教育の中での特別活動(学級活動, 部活動等)
- ② 学校教育の中での総合的な学習の時間等

4 プログラムの普及・活用

(1) 各種会議・研修会における周知(県内市町村生涯学習・社会教育主管課長会議, 各市町村子育て支援担当等主催会議, 校長会, 各学校への資料送付等)

(2) 出前講座の実施

- ① 申込窓口: 県生涯学習課社会教育推進班 連絡先 TEL022-211-3654
- ② 平成26年度宮城県家庭教育支援チームを設立(ファシリテーターとして派遣)

(3) 講座の進行役となるファシリテーターの養成

(4) 県生涯学習課ホームページに掲載

(<http://www.pref.miyagi.jp/site/katei/oyanomanabi-index.html>)

宮城県版 親の学びのプログラム

親のみちしるべ

宮城県では、家庭教育支援の社会的課題（孤独な子育て、虐待や放任、しつけ等）と東日本大震災後、大きな喪失感と困難な状況の中でストレスに悩み苦しむ保護者の心のケアや安心の回復に対応するため、平成24年度に『親のみちしるべ』を作成しました。

平成25年度は、これに加え、新たに思春期の子どもをもつ親対象のプログラムや、将来親になる10代の子どもたち対象の、命の誕生とその命をつないでいく大切さを学ぶプログラムを作成しました。

地域で子育てを支えていこうという、子育てサポーターの皆さんの力を結集して、県内の様々な場所で出前講座を実施することができました。

参加者からは、親自身が自分と向き合い子育てを見つめなおす良い機会になったとの声が多く聞かれました。また、中高生にとっては、親や周囲の大人を一人の人間として尊重することで、親子の信頼関係を築くきっかけになりました。

他の人の考え方を聞いて自分の問題点に気づけた

自分だけじゃなく皆が悩んでいるんだ、安心した

改めて命の尊さを知った自分を大切にしたい

大人になることや親になることに希望をもてた

交流を通して自分の生き方を見つめ直せた

今まで自分を支えてくれた親や家族へ感謝！ありがとう



第1弾

（平成24年度作成）
ステージ

- ①「自分と向き合う」
- ②「赤ちゃんが生まれて」
- ③「子育てと仕事の両立」
- ④「小さな社会へデビュー」
- ⑤「第2子誕生」
- ⑥「子どもが小学校へ入学」
- ⑦「お父さんの出番！」
- ⑧「親と子のコミュニケーション」
- ⑨「子どもたちの未来に寄り添っていこう」（心のケア）
- ⑩「子育てって自分育ち？」

第2弾

（平成25年度作成）
ステージ

- ①「ゆれる心の子どもに向き合おう」－これって反抗期？－
- ②「思春期の子どもに向き合おう」－揺れる思春期の子どもたち－
- ③「子どもの性に向き合おう」－一人の人間として－
- ④「こんにちは！赤ちゃん」－未来の親となるあなたへ－
- ⑤「親になるということ」－未来の親となるあなたへ－

親の学びのプログラムの活用



将来親になる子ども達

小学生 命の尊厳
中高学生 命の尊厳 性モラル

総合的な学習や保健体育、道徳の授業などへの導入

現在子育て中の親

乳幼児 ふれあい 安心
児童期 反抗期の理解 悩みの共有 共感
生徒期 思春期の理解 共感 励まし

公民館子育て講座やPTA行事、新入学関連行事などへの導入



親の学びのプログラムの効果

話し合いの場を提供
テーマを設けることで悩みの糸口を見出す

子育てを取り巻く状況の把握
本当に必要な支援を見きわめる

相互の学びへ結びつけていく
自分の子育てを否定せずこれからの未来の子育てに向かっていけるように励ます

「親のみちしるべ」ができるまで

スタート

作成委員会で
原案プログラムを作成する

県家庭教育支援チーム員をファシリテーターに県内で出前講座開催中

作成委員会全体で各プログラムの内容を再度検討し最終案作成

対象となるステージの親や生徒へ講座を開催し、県家庭教育支援チーム員がファシリテーターを務める

子育てでサポーターを対象にファシリテーター養成講座を随時開催し県家庭教育支援チームを結成

プログラムの流れや設問、進行手順を見直し、プログラムのねらいや効果向上のための検証を行う

担当作成委員が検証内容を素に、細部を修正する

「親になるということ」実践報告

このプログラムのねらいは、生徒たちに妊婦疑似体験や名前の由来・幼少時のエピソードを確認させることを通して家族や周囲人たちからの愛情を感じ、自分がかげがえのない存在であることを意識させるとともに、未来をロールプレイングすることで、将来自分が親になったらどのように子どもを支え育てていくか親の立場に立って考え、将来への明るい展望を抱いてもらうことです。

宮城県立白石高校 1年生 普通科・看護科280名を対象に実施

1クラスずつ3日間に巨り実施し生徒とじっくり向き合った

ファシリテーターは、県家庭教育支援チームが担当

県内の支援チーム員が結集し、事前講習や打ち合わせを何度も実施

6名で1グループとし各グループにスタッフ1名ずつが付き意見を引き出す

授業終了後に流れや反省点を確認しながら次の授業に反映させた

生徒たちの声

赤ちゃんが生まれるって、どんなことでしょうか？
親になるってどんなことでしょうか？
妊娠中のおなかを体験しながら考えてみましょう。

子どもの手本になれる親になりたい。子どもの心を理解したい。社会で役立つ人に。周りのことを考えられる人になってほしい。

お腹に赤ちゃんがいると思うと気になって…実際はもっとつらいだろうな。お母さんは偉い。

もしあなたが将来子どもを育てるとしたら、どんなことを思いますか。
(こんな親になりたい、こんな子に育ててほしい、こんな親子になりたい、子どもにこんなことをしてあげたい…など)



自分 誕生前

あなたが生まれた時のことを話し合ってみましょう。名前の由来や、好きだった遊び、よく食べたおやつ、心に残っているエピソードはありますか？

誕生日 年 月 日

心に残っているエピソード

名前の由来

好きだった遊び

よく食べたおやつ

やっと会えたね。生まれてきてくれてありがとう。両親が大変な思いをして育ててくれたんだなと思った、感謝。

過去

誕生

現在

17歳

18歳

20歳

27歳

30歳

37歳

未来をロールプレイング！
人生にはいろいろな節目があり、悩むことも出てくるでしょう。現在17歳の高校生の愛ちゃんもこれから人生を歩んでいきます。もし、あなたが愛ちゃんの親や家族・友人だったら、17歳～37歳までの未来の愛ちゃんにどんな言葉をかけてあげますか？



17歳の愛ちゃん
「口を開くとケンカになる…。ついつい親に「ウルサイ」とか言っちゃうんだよね」と実は悩んでいます。

18歳の愛ちゃん
「就職しようか、進学しようか、迷っているんだよね。特に夢とかないし…」と進路について悩んでいます。

20歳の愛さん
めでたく成人！「嬉しいことも増えただけ、お付き合いしている人と最近うまくいってない。」と恋に悩んでいます。

27歳の愛さん
「結婚したい人ができませんでした。でも、相手は自分でいいのかな？…幸せって何だろう」と結婚に対して不安を感じています。

30歳の愛さん
「やった～！子どもが生まれた～！でも、育てるって大変！健康にスクスク育てられるかな？…」と子育てに不安を感じています。

37歳の愛さん
「子どもが小学校へ入学！早いなあ…習い事とかさせた方がいいのかな？教育費って一体どの位かかるのかな？」家計も大変です。

親はあなたのことを考えて言っているから一度ちゃんと話を聞いてみたら。いろいろ迷うこともあると思うけど自分が正しいと思ったことをやってみよう！

エコマップを作ろう！

エコマップは、自分を取りまく人・環境を図であらわしたものだ。

★ もう一度これまでの自分を振り返ってみよう！

まずは自分自身を振り返って…。そして、思い出してみよう。家族、友だち、先生、見守ってくれていた人、叱ってくれた人…。大切な物、事…を思い出してみよう！

○の中に自分と関わった人や大切にしている物、事などを書き出してみよう！

自分のために言ってくれた言葉

自分

自分は一人でここまで来たわけじゃない、これからも周りの人たちへの感謝を忘れずに生きていきたい